

# 大震災・復興ニュース（第47報）

平成24年3月8日  
 仙台地方振興事務所水産漁港部

大震災からまもなく1年です。改めて亡くなられた方のご冥福をお祈りします。

## 1 水産業復旧・復興に向けた対応状況（国及び県全体の動き）

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 測定年月日 平成24年2月29日～3月7日
- 測定分析機関 宮城県農林水産部, (財)日本冷凍食品検査協会, いであ(株), 東北緑化環境保全(株), (株)総合水研究所
- 測定結果 放射性セシウムは国が定めた暫定規制値を下回り安全性に問題がないことが確認された。  
 水産物（漁獲日 平成24年2月22日～29日） (単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
ツナシホアミ（イサダ）	南三陸町神割崎沖	不検出	スケトウダラ	宮城県沖	0.65
ツナシホアミ（イサダ）	気仙沼市小泉湾沖	不検出	シログチ	宮城県沖	14.3
フノリ	網地島地先	不検出	マコガレイ	宮城県沖	不検出
マツモ	網地島地先	不検出	ミズダコ	宮城県沖	不検出
シラウオ	浦戸寒風沢沖	不検出	ケガニ	宮城県沖	不検出
ワカメ（養殖）	荻浜沖	不検出	マダラ	宮城県沖	5.6
マダラ	宮城県沖	4.1	マダラ	宮城県沖	2.7
ババガレイ（ナメタ）	宮城県沖	不検出	メカジキ	太平洋沖合	2.9
ヒラメ	宮城県沖	2.13	アオザメ	太平洋沖合	4.0
スケトウダラ	宮城県沖	3.3			

放射性物質の値は漁獲日における値を示す。

食品衛生法の規定に基づく食品中の暫定規制値 放射性セシウム 500ベクレル/kg

## 2 管内の復興に向けた動き

塩釜市魚市場水揚状況 (ト, 千円)

< 水産漁港部からのお知らせ >

平成24年塩釜市魚市場の水揚状況

塩釜市魚市場の平成24年2月の水揚は、

月	平成24年		平成23年		対比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1	1,225	552,653	1,405	653,198	87%	85%
2	760	428,901	915	439,655	83%	98%
累計	1,985	981,554	2,320	1,092,853	86%	90%

数量で760トン、金額で428,901千円となり、前年同月比数量で155トンの減、金額で10,754千円の減となった。

主な漁業種類はまぐろ延縄、その他刺網、せん漁業（かご等）であり、刺網でタラの水揚増があったものの、まぐろ延縄の隻数減、陸送によるブリ、ニシン、ツボ鯛等の上場減により、合計数量・金額とも前年同月より減となっている。

## 共同利用漁船等復旧支援対策事業の交付決定状況

管内における共同利用漁船の建造・中古船購入及び漁労設備等取得のための補助制度について、今年度の利用状況（交付決定）は以下のとおり。

- ・新造船：112隻
- ・中古船修繕：130隻
- ・定置網整備：25件
- ・漁労設備のみ整備：44件

### 阿武隈川漁協が自主禁漁

丸森町内川で採れた天然ヤマメから1kg当たり110ベクレルの放射性セシウムが検出された。4月に適用される新たな基準値100ベクレルを上回ったことから、県阿武隈川漁協と県内水面漁連は3月1日付けで同漁協管轄の阿武隈川水系を自主禁漁とした。全魚種の漁を禁止するため、同漁協では遊漁券の販売を停止した。

県は今後、放射性物質検査を隔週で実施、3回連続して100ベクレル未満となった場合、自主禁漁を解除する。

### <トピックス>

#### タオル網を用いたガレキ除去試験

3月5日（月）と8日（木）、水産工学研究所の協力のもと、仙南4地区小型底びき網漁業連絡協議会によるタオル網を用いたガレキ除去試験が行われた。

試験では、水産工学研究所が開発したタオル網を用い、2艘曳きによりガレキの収集・除去を試みた。

今後は試験結果を検証しながらさらに効果的な網の構造や操業方法を検討し、除去作業を行う予定である。



タオル網の揚網（右奥は鳥の海荘）

### 利府町海産物収穫祭

3月4日（日）、利府町役場駐車場を会場に、今回が第4回となる利府町海産物収穫祭が開催された。収穫祭では、ワカメ、コンブ、焼き・生ノリの販売の他、無料ワカメ汁コーナーやプチ鍋まつりコーナー、抽選によるメカブのつかみ取りもあり、大勢の観光客で賑わった。

また、極うま丼カップ2012プロジェクトに参加する地元の丼候補（三陸あなごのめかぶとろろ丼、みちのく風曲がりねぎホルモン丼、カキの梨味噌丼）の試食アンケートが行われ、人気を集めていた。



三陸あなごのめかぶとろろ丼



カキの梨味噌丼